

■ごあいさつ

ステークホルダーの
皆様からの期待と信頼に応え
持続的に発展する
企業グループを目指します



東武鉄道株式会社
取締役社長

根津 嘉澄

■はじめに

東武鉄道では創業時より、両毛地域で産出した生糸の鉄道輸送により地域産業の発展を支援し、その後は日光・鬼怒川エリアの観光需要拡大や、通勤・通学需要に応える複々線化事業等により、経済成長の一翼を担ってまいりました。さらに、東京スカイツリー®建設による社会インフラの整備などを実現し、社会の発展と事業の成長を両立してまいりました。

今日、企業が持続的に発展・成長するためには、企業経営において重要なESG(環境・社会・ガバナンス)の観点から、企業活動を通じて社会課題の解決を図るという社会との共生が求められております。東武グループでは、当社が特定したマテリアリティ(重要課題)と、課題解決により社会の発展と企業価値の向上を持続的に創出するプロセス(価値創造プロセス)により、持続可能な開発目標(SDGs)をはじめとしたESGに対する様々な取り組みを進めております。

■サステナビリティ

東武グループでは、「東武グループのサステナビリティの考え方について」において、地域社会の持続的発展、環境負荷低減などを重要課題として掲げ、社会及び東武グループの発展を目指しております。

■社会とのかかわり

鉄道事業においては「安全」を基軸に、安心・便利で快適なサービスを提供することを社会的使命と考え、バリアフリー等の推進並びに事故防止のための設備の充実のほか、気候変動リスクに備えた施設の強靱化などに努めています。また、輸送サービスを活用した地域社会における課題解決を通じて、地域活性化を目指し各種施策に取り組むほか、沿線地域にお住まいの皆様や自治体等と一体となり、沿線の魅力の発信に注力しております。

開発事業及び東武グループ各社の事業におきましては、沿線地域の皆様の日常生活のサポートを通じて地域の発展を目指しており、新しい生活様式にも対応したサービスを提供するなど事業の着実な遂行を通じて地域の持続的発展を実現してまいります。

■環境配慮への取り組み

近年の脱炭素・再生可能エネルギー導入などの動きを捉え、環境負荷低減に向け東武グループとして貢献できるよう様々な取り組みを行っております。

鉄道事業においては、エネルギー効率の高さという環境優位性を活かし、鉄道利用を促すことにより、社会全体の環境負荷低減を目指しております。一方で、動力のほか空調等の快適性向上やバリアフリー化等の機器増設など多くの電力を消費する側面もあるため、省エネルギー車両や施設の導入、回生電力の有効活用などの施策に取り組み、環境負荷低減に努めております。

開発事業においては、戸建分譲やマンション分譲のほか、商業施設等の賃貸物件において、積極的に省エネルギー設備や再生可能エネルギーを取り入れるなど環境に配慮した取り組みを進めております。また、メガソーラー発電所による再生可能エネルギー創出、保有山林の適正管理などにより、東武グループ全体としてのCO₂排出量削減に努めております。

引き続き、東武グループに関わる皆様からの期待と信頼に応えるべく、社会や環境への取り組みを進めながら、持続的な沿線価値と企業価値のさらなる向上を図ってまいります。

本報告書の発行を通じ、情報を積極的に開示することでステークホルダーの皆様とのコミュニケーションに努めたく、忌憚のないご意見・ご感想をいただければ幸いに存じます。

